

かけはし

No. 160
May

特集号

令和3年度

会員の意識と生活に関する 調査報告

~~~~~	
会員数	
(令和4年4月30日現在)	
総数	1,637人
男	992人
女	645人
~~~~~	



レンゲ畑と鯉のぼり (大沢の里公園)
写真撮影: 浮田 敏男 (牟礼一班)

『令和3年度

会員の意識と生活に関する調査報告』

就業委員会

1. はじめに

三鷹市シルバー人材センターは令和3年度で創立45周年を迎えました。また、第一回目のアンケートによる意識調査は創立30周年に当たる平成17年、第2回目は平成25年と、ほぼ7、8年ごとに実施し、今回の調査は第3回目となります。

会員の皆様は何をを考え、何に興味を持ち、どのように行動されているのでしょうか？

会員の皆様の現在の実態把握と、前2回の結果を時系列で比較することでより深く調査できたと考えています。

全会員の皆様へのかなり量の多いアンケートとなり、一部の会員様からのお叱りの声もいただきましたが、皆様のご協力により、貴重なデータを収集することができ

ました。本当にありがとうございます。分析・調査結果についてご報告させていただきます。

今回『かけはし』でご報告する内容は原本の抜粋となります。原本は当センターのホームページで閲覧できるよう、準備中です。（冊子化する予定もありません。）

また、この調査結果が、今後のシルバー人材センターの活動に生かされること、後世の会員の方々に歴史として残れば幸いです。

2. 会員基本データ

この15年間で当センターの会員の構成はどのように変わったのでしょうか。【表1】で見ると15年の月日を経て、大きく変化した項目は年齢構成、入会

後の年数です。大きな変化がないのは男女比率、配偶者の有無、所属班比率でした。際立って注目しているのがこの15年間の会員の年齢構成です。2005年には75歳以上の会員は21.0%でしたが、今回の集計では45・4%となり、高齢化が顕著です。今回のアンケートの調査では、75歳以上の方が半数を超える勢いです。それに伴い10年以上の会員比率も16・6%から33・1%となっています。

【表1】 基本属性 人数 %

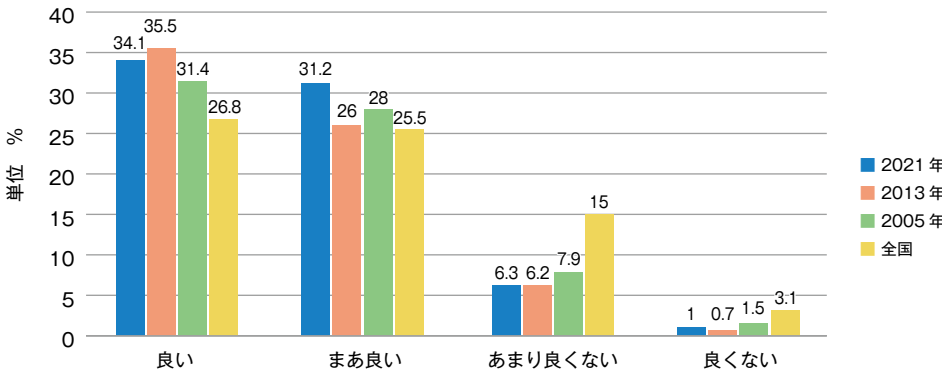
項目	内 訳	2021年 n=891	2013年 n=1475	2005年 n=1406
性別	男性	58.8	60.7	57.9
	女性	36.5	35.4	35.3
	無回答	4.7	3.9	6.8
年齢構成	70歳未満	20.3	50.5	66.6
	70歳以上 75歳未満	30.2		
	75歳以上 80歳未満	27.7	28.1	21.0
	80歳以上	17.7		
	無回答	4.0	5.3	8.0
配偶者	いる	67.5	69.4	68.4
	いない	28.5	23.5	21.7
	無回答	4.0	5.0	7.8
所属地域班	上連雀1班	5.1	4.9	7.1
	上連雀2班	8.6	9.4	9.2
	下連雀1班	7.6	7.5	7.3
	下連雀2班	10.9	12.1	11.4
	井の頭班	5.4	5.4	5.3
	牟礼1班	4.7	5.1	13.2
	牟礼2班	6.6	6.2	
	北野班	3.1	4.1	3.0
	新川班	8.4	10.4	11.0
	中原班	9.5	8.4	9.7
	大沢班	7.7	6.3	6.9
	野崎班	3.1	2.8	3.1
	井口班	6.5	5.6	6.3
	深大寺班	4.9	5.2	6.3
	無回答	7.6	6.2	0.2
入会後の年数	5年未満	36.1	39.4	51.0
	5年以上 10年未満	28.8	28.1	28.4
	10年以上 20年未満	27.7	27.8	16.6
	20年以上	5.4		
	無回答	1.9	4.7	4.0

3. 健康・暮らし・年金

当センターの会員の健康状態は【表2】のとおり「良い」と「まあ良い」を合わせ65・3%もあり、全国の高齢者の52・3%に比べてかなり良いと言えます。また、表は省略しますが80歳以上の会員でも63・3%と非常に高く、全国の高齢者の49・5%に比べ大幅に優れています。驚異的なのは第1回（平均年齢約70歳）、第2回（平均年齢約72歳）、第3回（平均年齢約74歳）と年齢構成は上がっているにも拘わらず、会員の皆様の健康状態に殆ど変化がない点は特筆に値すると思います。まさにお元気シルバー集団です。

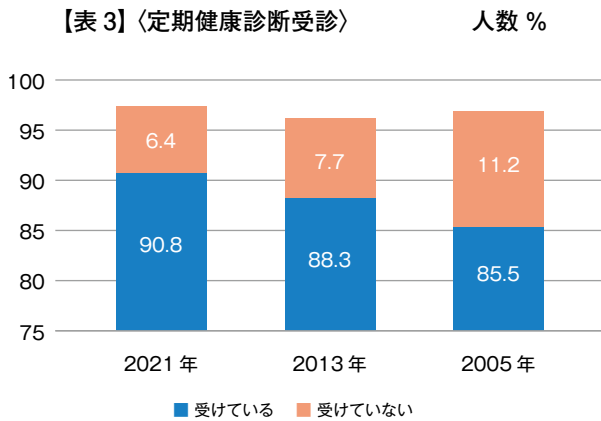
また、健康状態が「良くない」「あまり良くない」の合計数値が当センターでは7%程度です。全国の高齢者は18%を越えていて、歴然とした差があります。これ即ち、健康寿命が永いことを示しています。

【表2】現在の健康状態



定期健康診断受診率【表3】は2005年の85%から、今回は2021年は90%となつています。平成26年発表の厚生労働省の「国民健康・栄養調査報告」によると60歳代で69・7%、70歳代以上で60・4%と低く、ここ

【表3】〈定期健康診断受診〉



でもシルバー人材センター会員の意識の高さが伺われます。また、「受けていない人」も2005年の10%台から6%台へ減少しているように見えます。会員の皆様の健康の維持・持続意識の高さを証明しています。

それでは会員の皆様がどのような健康保持活動【表4】をしているのでしょうか。

定番はウォーキング57%、読書35%、自転車30%の3項目です。それに続き、10%以上なの

が音楽、ストレッチ・ヨガ、旅行、ゴルフでした。カメラが徐々に減り、ついに10%を割ってしまいました。スマホのカメラ機能の高機能・高精細化・大衆化にうばわれたのでしょうか。カメラは一部のプロの方を除き、趣味の世界から日常の世界へ移行したようです。

また、いままでは老後の余暇のゆしみ、嗜みの代表であった囲碁、将棋、盆栽、ゲートボールが半減から1/3減となっているのは、時代の移ろいと言えそうです。興味深い一端が捉えられています。

【表5】の所帯員の数ですが、4人以上の家庭が2005年、2013年、2022年と徐々に減りつつあります、1〜2人の家庭が増加し、双方合わせて、前回調査の5割台から本調査では6割台となっています。ますます、家族の核化が進んでいるようです。所帯構成人数は都内他地域と同様の結果でした。

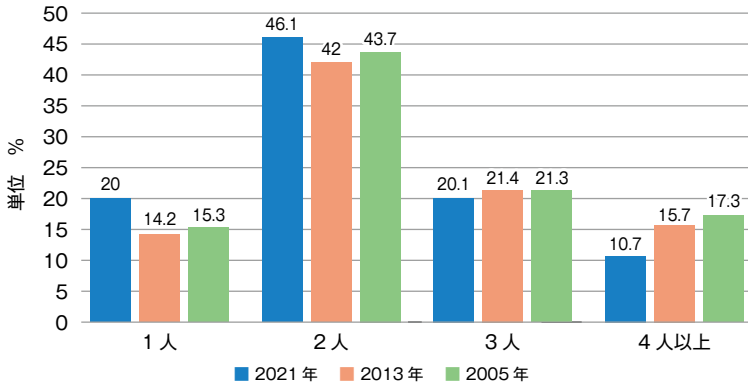
【表4】〈健康保持活動の内容〉 複数回答 人数 %

健康保持活動	2021年	2013年	2005年
ウォーキング	57.1	61.1	60.8
読書	35.5	35.4	37.5
自転車	30.1	37.2	
音楽	24.8	21.5	25.3
その他	24.5	31.3	37.6
ストレッチ・ヨガ	19.7		
旅行	19.5		
ゴルフ	10.0	9.4	11.2
カラオケ	9.1		
カメラ	7.3	12.5	14.9
ジョギング	6.0	8.4	
麻雀	5.0	5.8	5.9
テニス	5.0	4.0	2.9
踊り・ダンス	3.8		
盆栽	3.6	6.0	7.7
釣り	3.3	3.9	8.2
空手・太極拳	3.3		
囲碁	2.8	5.9	9.8
将棋	2.3		6.6
野球	2.3	2.0	
ゲートボール	0.3	0.4	1.8

→

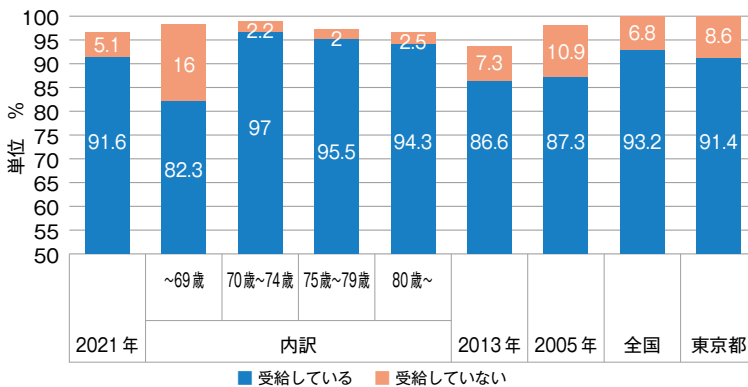
その他・主な内訳	2021年
登山・ハイキング	3.8
体操	2.4
園芸・ガーデニング	2.3
水泳	2.1
ジム・フィットネス	1.7

【表5】〈(世帯員)の数〉 人数 %



年金の受給【表6】について、
受給している当センター会員は
全体で91・6%に上昇しました。
厚生労働省年金局「令和元年
公的年金加入状況等調査」によ
ると、65歳以上の公的年金受給率は、
全国ベースで93・2%、東京都
91・4%であり、当センターにお
いてもほぼ同じ受給環境にあると
思われます。

【表6】〈年金の受給〉



65歳以上の殆どの会員が何ら
かの公的年金を受け取っている
のですが、それで充分なので
でしょうか？
イオン銀行タマルWebによ
ると国民年金の受給平均額は男
性5万8,866円、女性5万3、
699円ですから、受け取れる
金額は少ないと思います。厚生年
金（国民年金含む）の受給平均
額は男性16万4,770円、女性

10万3、159円となっております。仮に年金受給額がこれらの平均額であれば、夫婦とも会社員・公務員で共働きの世帯の年金受給額は合計で月26万8、000円ほどになる計算です。しかし、仮に夫が会社員で妻が専業主婦なら年金受給額は月約21万8、000円。さらに夫婦で自営業なら国民年金のみの受給となるため、月11万3、000円程度となっております。そのうえ、年金にも税金や介護保険料の天引き等がかかりますので、手取りはもっとと少なくなります。厳しいですね。

その割には、【表7】の通り、高齢者の皆様は経済的に満ち足りた生活を送られているように見えます。年金以外のシルバー人材センター等の収入源または、預金の切り崩し等に

【表7】 経済的満足度 人数%

	満足	どちらでもない	不満足
三鷹シルバー会員	51.6	22.1	23.2
全国高齢者 65歳以上	74.1		25.4

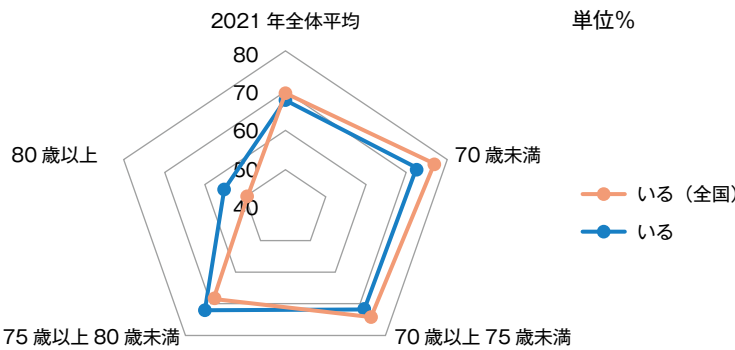
より、生活レベルを維持している結果ではないでしょうか。

4. 仕事・交流・生きがい

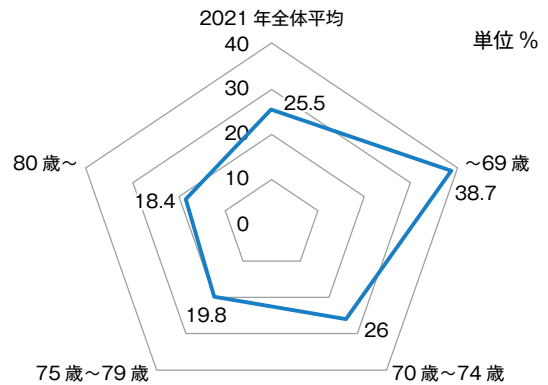
当センター以外での収入を伴う仕事【表8】について聞いてみました。近年、年金の支給年齢が65歳以上に引き上げられた関係で、70歳未満の会員でセンター以外での収入を求める方が増えてきているようです。

【表9】の通り、配偶者のいる高齢者は80歳未満では7割以上ですが、80歳以上では50%台と低下しています。残念ですが、死別等により、配偶者を失う現実があるようです。ほぼ、全国ベースと同一です。ただ、80歳を超えてもシルバー会員の配偶者のご健在の方が全国よりも多い結果となりました。

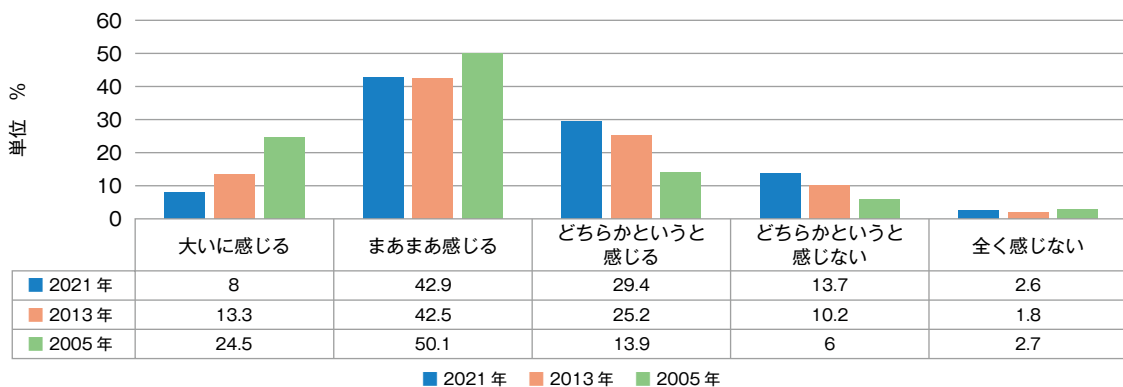
【表9】 配偶者健在率



【表8】 センター以外での収入を伴う仕事をしている会員



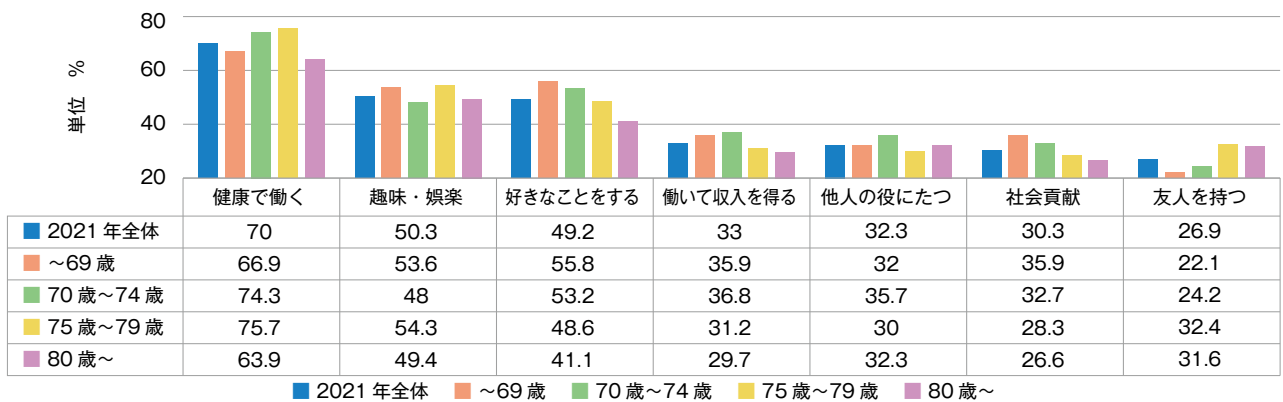
【表10】 生活のはりあい



生活のはりあい【表10】について大変由々しい結果となっています。はりあいを「大いに感じる」会員が2005年に比して1/3の8・0%、逆に「どちらかというと感じる」、「どちらかというと感じない」会員がそれぞれ29・4%、13・7%と倍増しています。理由は勝手な想像としてコロナ禍のせいと考へたいと思います。ただし、この16年で徐々にはりあいを感ぜない会員が増えています。気がかりです。次回の調査で元に戻っていることを期待したいものです。

会員の皆さんが何に生きがいを感じているか【表11】を聞いてみました。断然トップは「健康で働くこと」で約7割の方が感じていることでした。続いて約5割の方が「趣味・娯楽」、「好きなことをする」でした。後は3割台で「働いて収入を得る」、「他人の役に立つ」、「社会貢献」、「友人を持つ」が続いています、そ

【表11】 生きがいを感じる時 複数回答

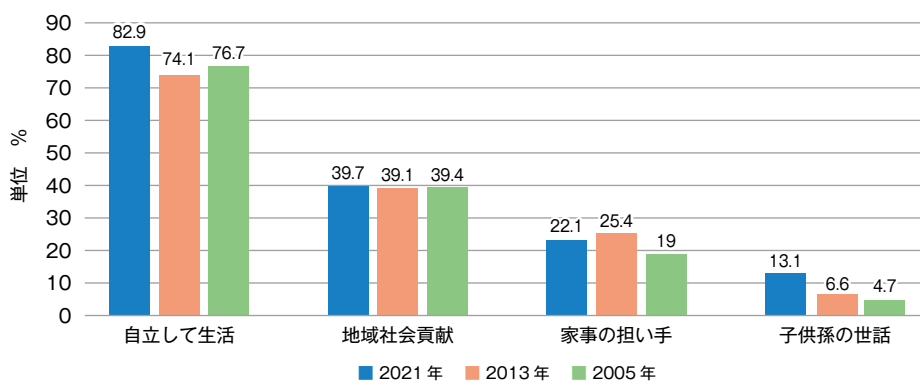


れぞれに高い率を得ました。この順位と割合は2013年の結果とほぼ同じであり、この7項目は永年の定番であり、ほぼ変化がありません。会員の皆様の生き甲斐を感じる時をよく表していると思います。

【表12】は当センター会員の皆様が自立した生活を維持してゆくとこの確固たる決意と信念を現わしている気がします。加えて社会貢献、家事の担い手としても頑張っている姿が見えます。

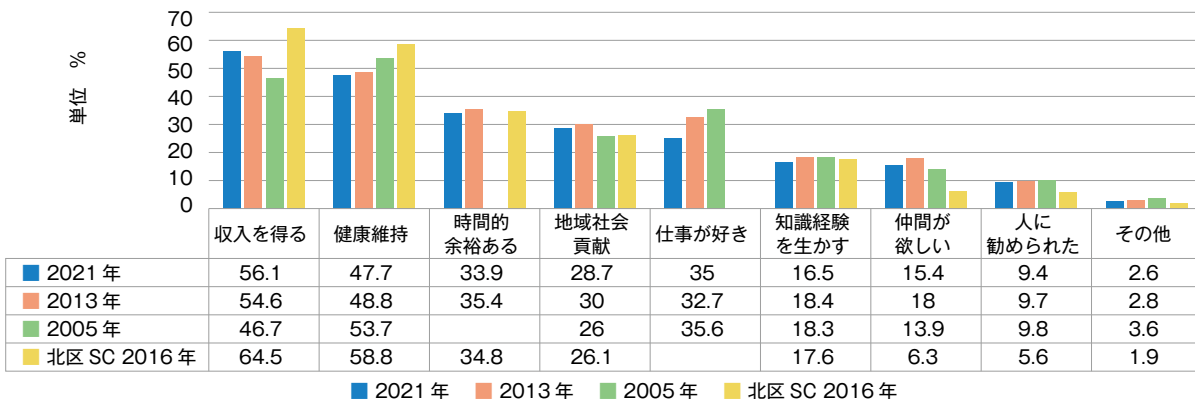
特に若い世代で「自立して生活する」気持ちが強いです。家族の核化の影響があるのでしょうか。ただ、「子供・孫の世話」が2005年に比して3倍になり、少子化・核家族化の中にあるながら、ジジ・ババの役割を自認している姿も見取れます。

【表12】 高齢者の役割

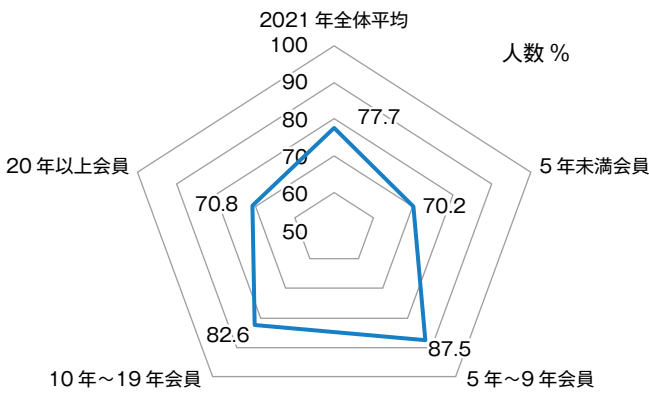


5. 就業率・仕事内容・研修

【表13】 入会理由 複数回答



【表14】 〈この1年間のセンターでの就業率〉



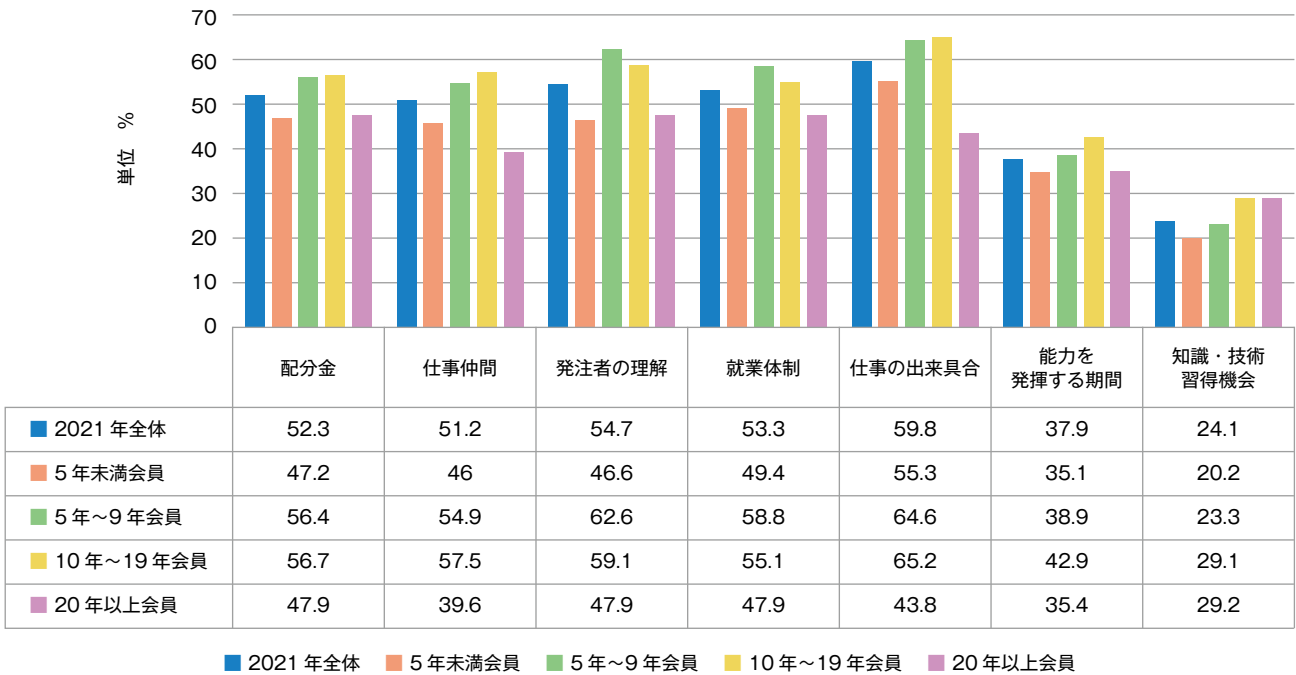
センターへの入会理由【表13】の2トップは「収入を得る」、「健康維持」となりました。収入を得ながら、身体を動かすことで健康維持もとの一石二鳥の構えの会員が半数いらっしゃるようです。東京都北区シルバー人材センターのアンケート結果とほぼ同一の結果となりました。近年の傾向として、健康維持よりも収入を得たいという会員の方が多くなりつつあるようです。

【表15】は各年代別で「仕事の満足している」と回答した会員の割合を項目別に並べてみました。

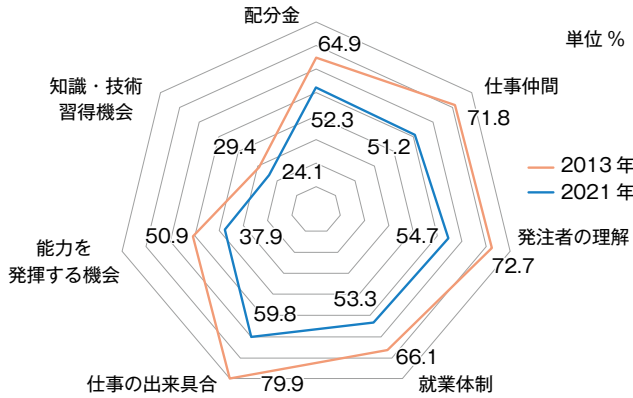
【表14】のこの1年間とはこのアンケートの実施がほぼ、上半期終了時点であるため、この1年間のセンターでの仕事は、2020年10月から2021年9月末までということになります。2020年度の当シルバー人材センターでの集計では74%（会員数1701、就業会員1346）です。今までの最高の当センターの就業率は2014年度の80.7%（会員数1591、就業会員1284）で就業会員数は増加しているものの、会員数が増加して以上に増加しているのがわかります。因みに東京都のシルバー人材センターの就業率の2021年度全体平均は75.3%なので当センターは平均値だと思われず。気になるのは5年未満の会員と20年以上会員の就業率が低い点です。

全体平均に比べて、5年未満会員と20年以上会員の満足度が一般にわたって低いのが気になります。

【表 15】「仕事に満足している」と回答した会員 複数回答



【表 16】仕事に対する満足度「満足している」と「まあ満足している」と回答した会員



【表 16】では 2021 年は 2013 年に比して、全項目について満足度の低下がみられます。「配分金」、「仕事仲間」、「発注者の理解」、「就業体制」、「仕事の出来具合」についての満足度が、2013 年は約 7 割であったものが、2021 年には 5 割台

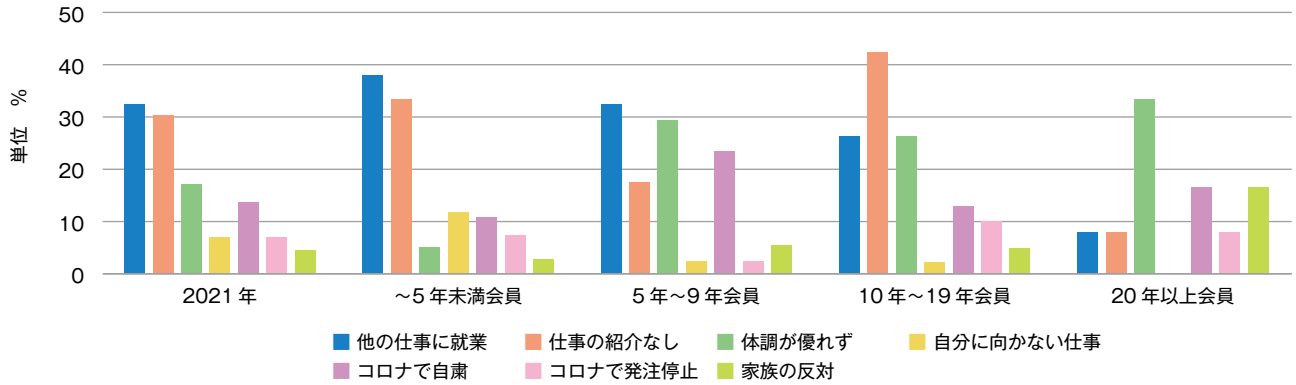
特に入会 5 年未満の会員は 4 割台となっています。昨今のコロナ禍、景気低迷のため、厳しい環境が続いていますが、就業開拓、就業単価の上乗せ努力も必要です。

【表 17】ではコロナ蔓延の影響も大きいようで「コロナ自粛」「コロナ発注停止」「家族の反対」などで 2 割 5 分の増加が確認できます。社会全体でもコロナ離職が大きな問題となっていることもあり、会員の皆様にもご苦労をおかけしているようです。

こうした影響もあり、今年 1 年残念ながら当シルバーにて仕事をしなかった会員の理由で、「シルバー人材センター以外の仕事に就業」と「仕事の紹介なし」が理由の 1、2 位を占めています。特に入会 5 年未満の会員の数値が双方ともに 3 割を超えています。10 年未満の会員は「他の仕事に従事」、10 年～19 年会員は「仕事の紹介なし」、20 年以上会員は「体調が優れず」が一番の理由になっています。

【表 17】〈この1年間仕事をしなかった理由〉

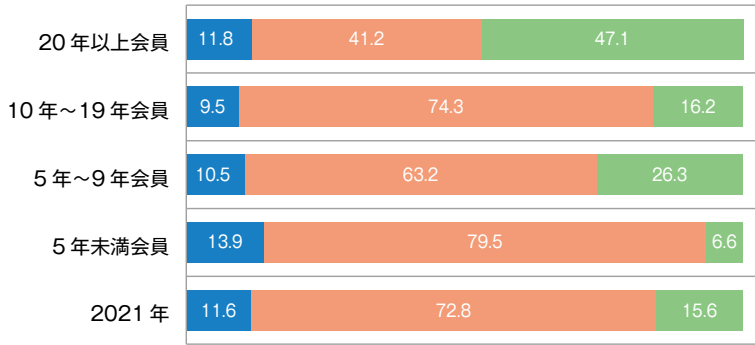
人数 % 複数回答



【表 18】未就業の会員の就業意欲

(人数 %)

■ どんな仕事も引き受ける ■ 仕事内容により引き受ける ■ 引き受けない



【表 18】でどんな仕事でも引き受ける」「仕事の内容により引き受ける」と答えた方が前は約7割弱、今回は8割強、5年未満の会員では9割越えとなり、切実さが感じられます。

【表 19】〈希望する職種とその充足度〉

人数 %

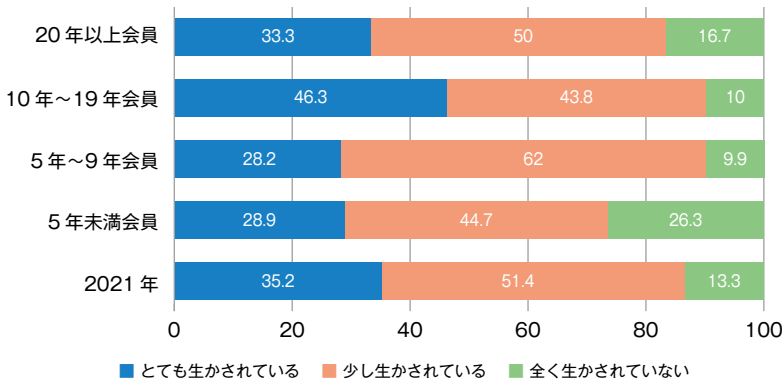
複数回答

	2021年			2013年		
	希望する仕事内容	過去1年間の実際の仕事	充足度 (%)	希望する仕事内容	過去1年間の実際の仕事	充足度 (%)
施設管理	25.8	18.4	71.3	23.9	17.1	71.6
一般事務	19.1	3.1	16.5	18.0	5.6	31.1
屋内作業	14.0	12.6	89.6	17.2	15.3	89.0
技能	13.7	5.3	38.5	13.4	5.2	38.8
調査事務	13.2	1.6	11.9	11.5	0.7	6.1
福祉家事援助	12.3	10.3	83.6	11.5	7.7	67.0
教育指導	11.9	4.3	35.8	9.2	3.7	40.2
屋外作業	11.8	14.6	123.8	13.4	13.2	98.6
物品管理	8.0	0.7	8.5	9.6	1.1	11.5
子育て支援	6.8	2.0	29.5	7.1	1.4	19.7
社会活動	6.4	3.0	47.4	17.9	20.9	116.8
その他のサービス	5.4	0.2	4.2	3.8	0.6	15.8
その他	8.3	17.1	205.4	4.9	7.5	153.1

【表 19】希望する職種とその充足度を比較しました。会員が希望する施設管理、屋内作業（清掃作業等）、屋外作業（除草、水やり等）、福祉家事援助の仕事が実

際の仕事として希望者の1割以上を占めて、充足率も8割以上で安定しています。希望者は多いのに、それに見合う仕事がない職種が一般事務、調査事務、教育指導

【表20】 研修・講習会は生かされているか



です。また、コロナ禍の影響と思われるのが社会活動（ボランティア等）で2013年に比べ実施が85%の減少となりました。

研修、講習会については、やはりコロナ禍の影響で昨年度、今年度とも一部の研修しか行うことが出来ませんでした。しかし【表20】のように、研修や講習

【表21】〈現在の配分金・賃金の月額〉 人数 %

	1万円程度	2万円程度	3万円程度	5万円程度	7万円程度	10万円以上	無回答
70歳未満	20.4	11.6	11.0	16.0	17.1	1.7	22.1
70歳以上75歳未満	22.7	10.8	14.9	16.7	16.4	3.0	15.6
75歳以上80歳未満	23.5	11.3	15.4	18.2	12.6	2.0	17.0
80歳以上	29.1	17.7	8.2	11.4	4.4	0.6	28.5
無回答	25.0	8.3	13.9	11.1	8.3	0.0	33.3
2021年全体平均	23.7	12.2	13.0	15.8	13.0	1.9	20.3

習会が現在の生活や就業に生かされていると感じる会員は8割5分にもなります。会員の皆様の向上心、探究心は根強いものがあります。この力がより良い、質の高い、安全な就業につながると思います。

【表22】〈希望する配分金・賃金の月額〉 人数 %

	1万円程度	2万円程度	3万円程度	5万円程度	7万円程度	10万円以上	無回答
70歳未満	6.6	11.0	16.6	24.3	20.4	15.5	5.5
70歳以上75歳未満	5.9	13.4	15.2	26.4	20.4	11.2	7.4
75歳以上80歳未満	8.1	11.7	16.2	29.6	17.0	5.3	12.1
80歳以上	12.7	12.0	22.2	17.7	10.8	2.5	22.2
無回答	11.1	13.9	11.1	16.7	16.7	8.3	22.2
2021年全体平均	8.1	12.2	16.8	24.9	17.6	8.8	11.6

会員の皆様の月々の配分金・賃金の月額【表21】の実績は、1万円程度とする回答が一番多くなりました。配分金・賃金の受取り額の平均は約3万5,000円／月前後となります。

令和2年度当センターの実績は、会員の在籍は1701人、就業実人員は1346人、配分金・賃金の合計が5億円／年なので当センターの会員の単純平均は約2.5万円／月、就業者平均は約3.1万円／月が実績となります。

一方いくらの配分金・賃金を希望するか【表22】との問いには5万円／月程度とする回答が大きくなりました。

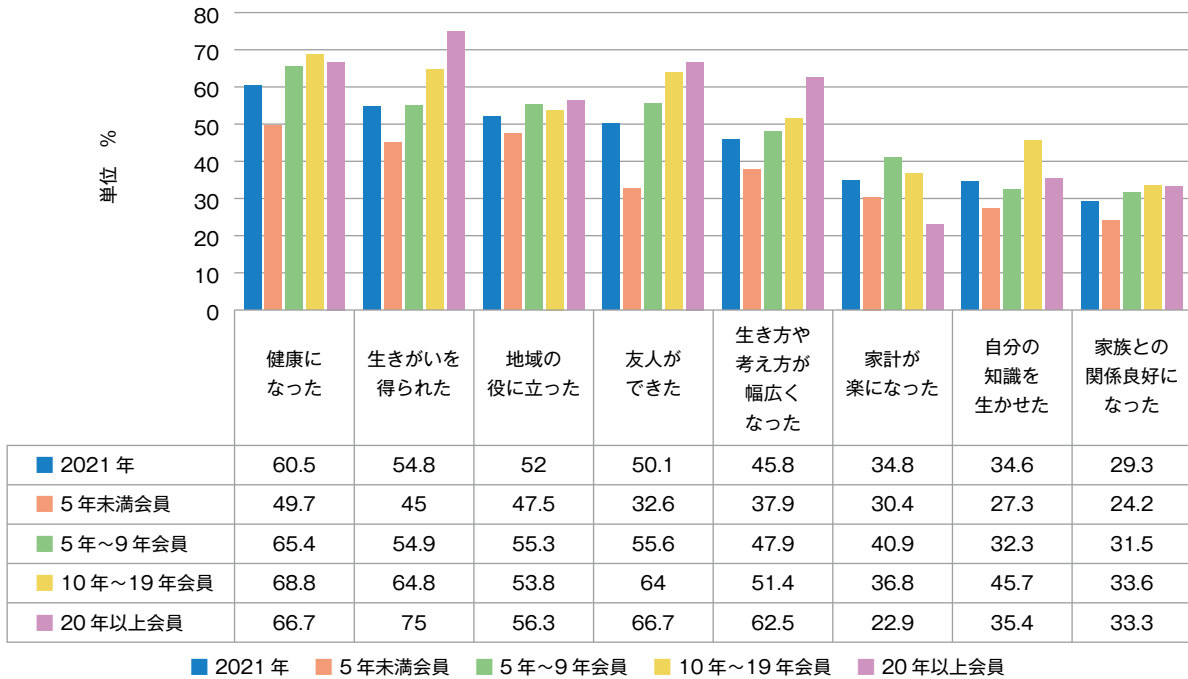
この平均は4万7,000円前後となります。会員のアンケート結果を入力していて、強く感じたことは、皆様の希望額は殆どの方が現在の配分金の一つ上のクラス（1万円／月程度の方の希望額は2万円／月程度、3万円／月の方は5万円／月程度）を希望されていたと感じます。会員の切実な思いが伝わってきました。希望する額と現在の額との差は、4万7,000円／月マイナス3万5,000円／月で1万2,000円／月ほどです。これから計算すると当セン

ターの売上の増額が2億円〜2.5億円/年ほどになります。なかなか実現が難しい数値ですが近づけるように努力が必要です。

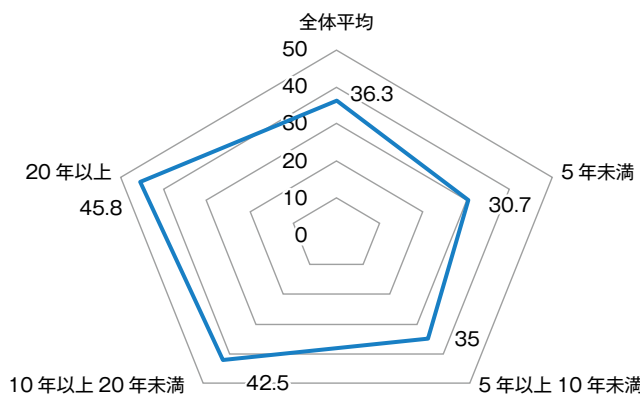
6. 会員の意義・今後の期待

【表23】で皆様はセンターに入したことによりどのような変化があったと感じているのでしょうか？前回の調査結果とほぼ同等の結果となっています。「健康」「生きがい」「地域貢献」の3本柱がシルバー会員の皆様の協働共助、生涯現役、社会還元、生涯青春の支えになっているように思えます。センター加入が会員皆様にとって前向きな動機となり、重要なエポックになっているようです。

【表23】センター加入後の変化



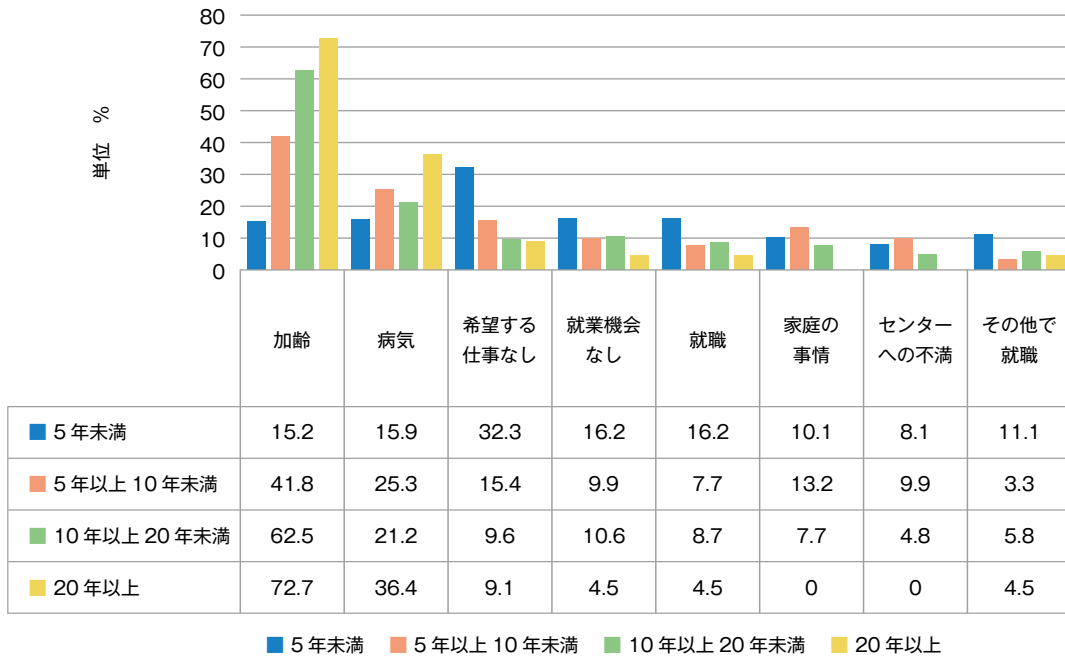
【表24】退会を考えたことがある会員



【表24】にあるように、ほぼ4割ほどの会員が1回は退会を考えたことがありそうです。理由は何があるのでしょうか。当然のことだとは思いますが、経験の長い会員になるにつれ、退会を考えたことが多いようです。

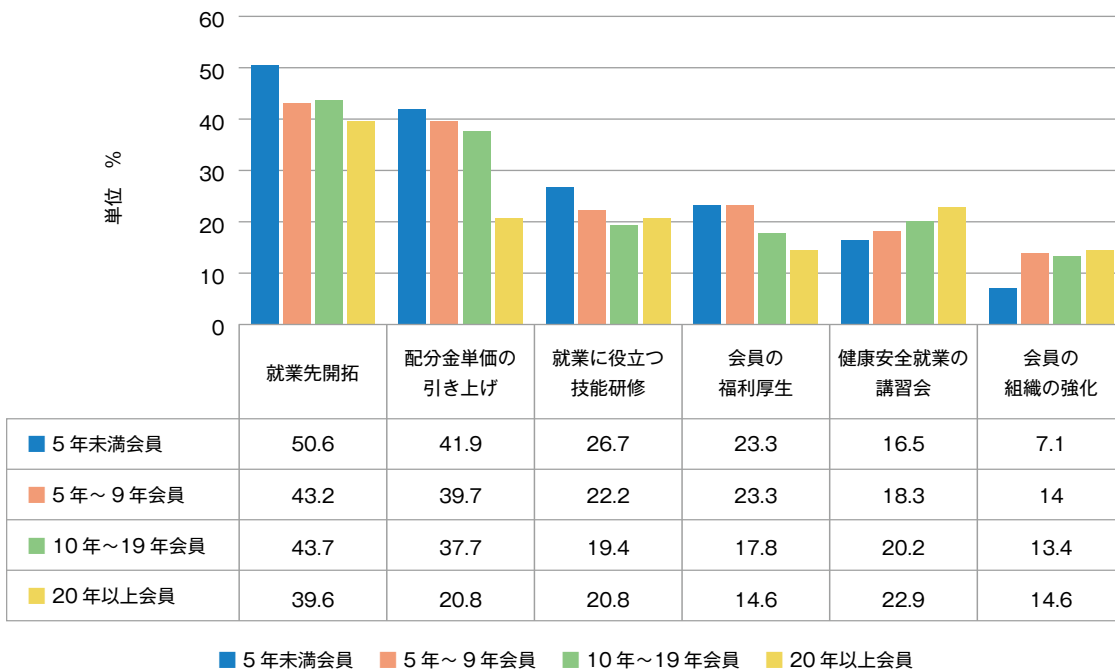
退会を考えた理由【表25】として入会后20年以上の会員の「加齢」と「病気」、入会5年未満の会員の「希望する仕事なし」が大きな理由のように見えます。

【表25】〈会員退会を考えた理由〉 人数 % 複数回答



センターの活動として求められているもの【表26】は「就業先開拓」「配分金単価引き上げ」が1、2位を占めており、そのあとの順位も2005、2013年も変わらない。不動の順位となりました。

【表26】重視して欲しい活動



その中で、「配分金の単価引き上げ」の希望が年を追って増加して来ています。景気の低迷の影響もあり、なかなか、会員の要望に応えきれない実情があります。

7. デジタル社会への対応状況

近年はデジタル社会への変革が日進月歩です。シルバー世代の皆様がその変革についていけず、その恩恵にあずかる機会が奪われていることが危惧されています。特にコロナ蔓延の影響により、リモート環境とインターネット環境の整備が急激に進み、スマホやパソコンにより、あえて外出することなくいろいろな業務が完結できるようになりつつあります。

【表27】で当センター会員の60歳代のスマホの保有率は90%を超えています。70歳代で約75%位と80歳代は55%位との結果が出ました。

【表27】〈携帯電話所有〉 人数 %

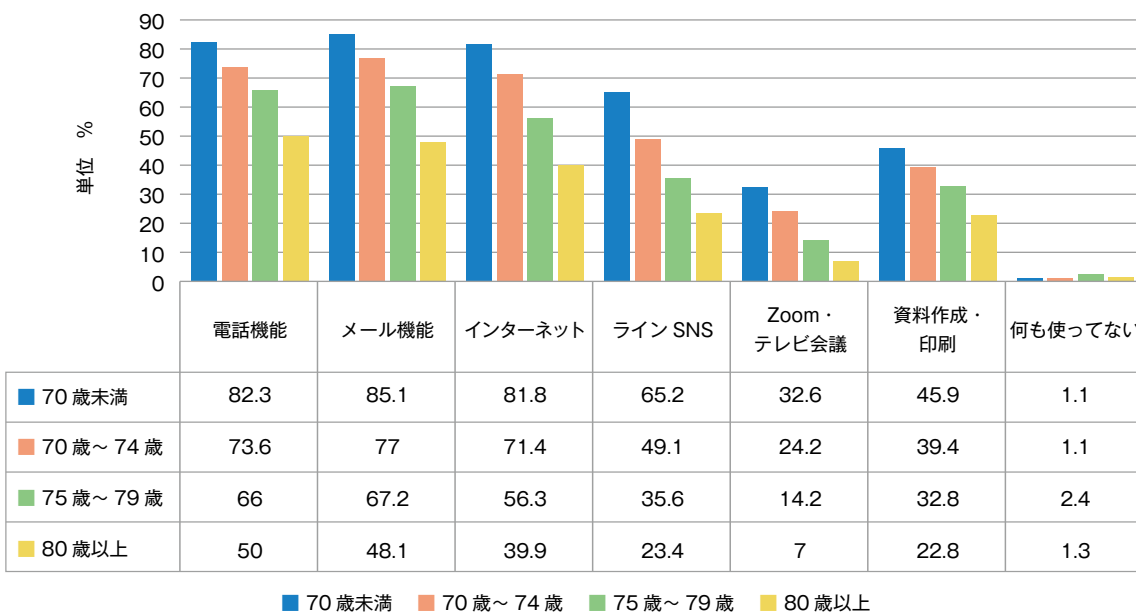
	スマホ所有	ガラケー所有	持っていない	無回答
70歳未満	90.1	7.2	1.7	1.1
70歳以上75歳未満	79.2	16.4	1.9	2.6
75歳以上80歳未満	71.7	21.1	6.1	1.2
80歳以上	57.6	26.6	10.8	5.1
無回答	25.0	8.3	0.0	66.7
全体平均	73.3	17.3	4.5	4.9

【表28】〈NTTドコモモバイル研究所スマホ携帯所有動向（2021年1月）〉

	スマホ所有	ガラケー所有
60歳代	80%	19%
70歳～79歳	62%	26%

NTT調査【表28】によると当センターのスマホの保有率は全国平均に比べ各世代10%ほど高くなっていると思われる。

【表29】携帯・スマホ・パソコンの使途



【表29】のように、メール、インターネット、LINEなどのSNSの使用率が年代が若いほど高くなっています。次回のアンケートでは、どうなっているでしょう。軒並み使用率のアップ

とキヤッスレス決済等のデジタル化の動きが加速されてくるものと思います。この辺のデジタル化スキルも上げないと今後の就業開拓に影響が出てくると想像されます。

当センターでも、コロナの蔓延防止法の適用や緊急事態宣言の発令に伴い、会員の非接触化の推進の為、Zoomを使用した会議を積極的に導入し、いち早く委員会等の会議のリモート化を進めました。当初は多少の混乱もありましたが、現在は順調に稼働しています。また、使途が年代別にきれいに階段状になっていて、若い会員ほど使い込んでいるのが確認できます。

総務省 令和2年 情報通信白書による年代別インターネット使用率は60～69歳 82・7%、70～79歳 59・6% 80歳以上 25・6%となっており、当センターの使用率は平均か若干高い程度と思われます。

【表30】〈当センターのホームページ閲覧〉 人数 %

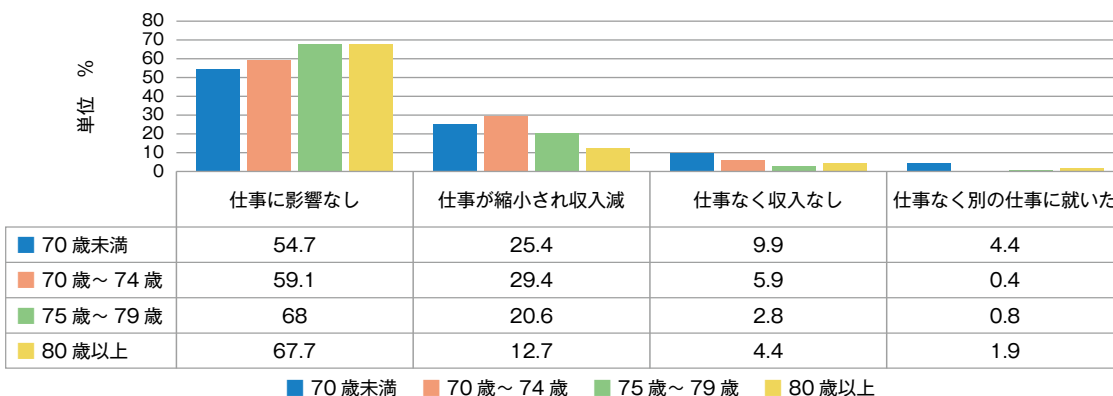
	週1回以上見る	月1回見る	時々見る	殆んど見ない	一度も見なかった	無回答
70歳未満	2.8	3.9	32.0	33.7	24.3	3.3
70歳以上75歳未満	0.7	5.2	22.7	29.4	33.5	8.6
75歳以上80歳未満	1.2	2.4	21.1	27.1	36.8	11.3
80歳以上	1.9	3.2	14.6	22.8	37.3	20.3
無回答	0.0	0.0	0.0	8.3	22.2	69.4
全体平均	1.5	3.6	21.8	27.6	32.8	12.8

【表30】の結果で三鷹市シルバー人材センターのホームページ閲覧したことが一度もない会員のかたが、まだ3割強、いらっしゃるようです。当該ホームページは昨年度リニューアルされ、デザインが一新され、見易くなりました。会員の為のページも充実し、募集中の就業情報も家庭にしながら閲覧可能です。スマホで左記の2次元バーコードを読み取るだけで簡単に、当センターのホームページにアクセスすることが出来ます。ぜひ、試してみてください。

三鷹市シルバー人材センター
ホームページQRコード



【表31】 コロナ禍での仕事への影響



8. 新型コロナウイルス蔓延の影響

【表 32】〈ワクチン接種の有無〉 人数 %

	接種した	接種予定	接種しない	その他	無回答
70 歳未満	92.3	2.2	5.0	0.6	0.0
70 歳以上 75 歳未満	93.7	3.7	1.9	0.0	0.7
75 歳以上 80 歳未満	96.4	1.6	1.6	0.0	0.4
80 歳以上	95.6	2.5	0.6	0.0	1.3
無回答	13.9	0.0	0.0	0.0	86.1
全体平均	91.2	2.5	2.1	0.1	4.0

コロナ禍が仕事に影響【表 31】がなかった会員は約 6 割ですが、70 歳未満の方は 75 歳以上の方に比べ影響が大きいようです。影響があり、収入がなくなった方、減ってしまった方は 30% 弱います。

この【表 32】の結果は令和 3 年 9 月末なので、令和 4 年の 3 回目接種は始まっています。2 回目接種の真っ最中でした。当センターの接種率は平均より高く、ご自身及び家族の健康、他の方への感染予防等の気持ちが強いと思われます。

東京都の 65 歳以上のワクチン接種率は実数ベースで 9 月末（アンケートの同時期）現在で一回目接種完了 89・30%、二回目接種完了 88・68% でした。（出典…デジタル庁）

9. 今後に向けて

我々、就業委員会において、アンケートを実施し、色々な問題点や今後解決しなければならぬ懸案などが明らかになって来たと感じています。この結果を会員の皆様のいつわらざる本音として、真摯に受け止め、今後の対応に生かしてゆく努力が必要です。

事業部会・就業委員会も責任

重大です。魅力的で生き甲斐を感じるシルバー人材センターを目指して皆様と共に歩んでいきたいと考えています。



令和3年度「シルバー展・作品展」を 同時開催しました。

三鷹市シルバー人材センター45周年事業として、「シルバー展・作品展」を2月2日(水)～2月4日(金)の3日間、三鷹産業プラザにて同時開催しました。

シルバー展では三鷹市シルバー人材センター45周年の歩み、いきいき活動するセンターの仲間たちの紹介。作品展ではコロナ禍にあってもめげない力作が展示されました。

コロナウイルスの影響で2年ぶりの開催となりましたが、多くの方々にご尽力、ご来場いただき、無事終了することができました。ありがとうございました。



同時開催された
「これからのシルバー
応援フェスタ」

